

導入場所に特化した 情報掲示板としての提案が多種多様に可能

秋田県 JR横手駅 新駅舎の “横手観光新聞”

2011年10月1日にオープンした秋田県横手市のJR横手駅新駅舎では、ピーエム長野(株)のデジタルサイネージ制作・再生ソフトウェア「ゆう子でタッチ」を活用したタッチ式デジタルサイネージを導入。2階建ての1階インフォメーションカウンター横に設置されている。

液晶ディスプレイは、シャープ製の32インチデュアルタッチ（Windows7のみ対応）対応のものを横置きに使用、コンテンツは新聞形式で観光情報を掲示する“横手観光新聞”が表示されている。

ディスプレイ画面にタッチすることで画面が切り替わるタッチ機能としては、イベントスケジュールやパンフレットの拡大表示、店舗所在地とメニュー情報を検索できる「横手やきそば店舗マップ」、指で手書き文字を入力できる「デジタル伝言板」などを実装。新聞という形で一画面に全ての情報を表示し、タッチすることで別の画面を表示させ詳細情報を引き出すというタッチ式デジタルサイネージの特徴を最大限に生かしている。

なお、“横手観光新聞”を構成している“記事”ひとつひとつは、それだけで完結した別データとして制作されており、その個々のデータを一つに集約し、新聞紙面のようにレイアウト表示されている。

また、エンドユーザーは、更新したい記事のデータのみを修正するだけで、コンテンツの更新が簡単にできるようになっている。

ピーエム長野は、「このデジタルサイ

ネージコンテンツは、今回のような観光情報の表示だけでなく、タイトルと発想を変えることで病院や学校、ショッピングモールや銀行など多くの人が集まる、その場所に特化した情報掲示板としての提案が、多種多様に可能です」と話す。

問い合わせ
 ピーエム長野(株) デジタルサイネージ事業部
 東京都千代田区二番町 10 番地 3
 ピーエム長野ビル
 Tel.03-3234-2347
 dsinfo@bmn.jp
 http://www.bmn.jp



新聞形式で観光情報を掲示する「横手観光新聞」の画像サンプル。



JR横手駅 新駅舎の1階インフォメーションカウンター横に設置されたタッチ式デジタルサイネージ。同サイネージの表示コンテンツ「横手観光新聞」は、デジタルサイネージ制作・再生ソフトウェア「ゆう子でタッチ」で制作している。